

69 Pedal mkII User Manual



各コントロールについて

- VOLUME** 音量を調節します。
- INPUT** 入力インピーダンスを調節します。時計回りにフル回転させると、純正ファズフェイス・サウンドが得られます。このノブを下げると、ワウとの相性が良くなり、ファズフェイスタイプの回路を濁らせる低音を取り除くことができます。
- CONTOUR** 時計回りに回すとミッドレンジの明瞭さと全体的なゲインを追加します。反時計回りに最大に回すと回路から外れ、純正のファズフェイススタイルになります。
- FUZZ** 時計回りに回すとディストーション/ファズの量を調節します。通常は時計回りにフルに回すとベストなサウンドになります。入力信号に敏感に反応するため、ギターのパリウムを絞ることでサウンドをクリーンにすることが可能です。

注意：Contour、Bias、Fuzzの各ポットを回すと、パチパチというノイズが聞こえる場合がありますが、製品不良ではございません。

- Bias** 筐体内部のトリマーで歪みの形状を変更します。
(内部トリマー) 出荷段階ではスムーズでソフトなチューブライクなトーンに設定されています。

※設定レベルによっては音が出ない、場合によっては製品破損につながる場合がございますので調節の際は少しずつ慎重に行なってください。

- ON/OFF** オン/オフを切り替えるスイッチです。
Footswitch

電源について

DC INPUT

PN ゲルマニウム・トランジスタの性質上、DC アダプタージャック(2.1mm シャフト)の**センタープラス(+)**DC9 ボルト電源のみ使用可能です。

※一般的なセンターマイナスはご使用いただけません。パワーサプライ等を極性反転させて使用する場合、グラウンドがフルアイソレートされた回路の製品をご使用ください。

BATTERY

9 ボルト電池(006P バッテリー)で駆動させることも可能です。電池交換の際は、筐体左右のネジを回して外し、ペダルの上部と下部を分離して電池を交換します。

入出力について

INPUT 1/4" モノラル標準フォン入力端子

OUTPUT 1/4" モノラル標準フォン出力端子

配置について

69 のような PNP 回路のペダルは、トゥルーバイパスを持たない他のペダルと一緒に使用すると、極性マッチングの問題が発生することがありますので、本ペダルは「バッファード」ペダル(チューナー、Ibanez、Boss、digitech など)の前に配置してください。

69 Pedal mkII について

69 mkII は Fat-Body ゲルマニウム・トランジスタを 2 個搭載したファズペダルです。

初期の Arbiter Fuzzfaces と同じゲルマニウム・トランジスタ搭載のファズ回路を採用し、インプット・レベル、ミッド、トランジスタ・バイアスなどの調節が可能です。

適切にマッチングされたゲルマニウム・トランジスタは、真空管のようなレスポンスと太く均一なハーモニクスを奏でます。

Fuzz フルにして、ギター本体のパリウムを調節すれば、思うままのサウンドメイクが可能です。